

# JCD

KANTO  
Designers

噂の商業施設  
2020年のオリンピックに向けての、急ピッチ  
工事中の(仮)新国立競技場の現在の工事状  
況です。  
本誌では時間を置いて、進行状況を掲載いた  
します。

2018  
0331

JCD kanto publishing

JCD  
KANTO  
Designers

発行人 小田秀樹/関東支部長  
編集長 古川紳太/広報委員会  
編集委員 大滝道晴/広報委員会

関東支部  
研究セミナー委員会

関東月例会 とくトーク

'18 January  
2018年1月26日  
18:30~21:30

オカムラVitra店舗用什器  
ショールームで語る

木之内憲子の世界



今回のトークゲストは、今年度JCD正会員になりました、木之内憲子さんをお願いいたしました。  
JCD会員の中でも商環境設計者とは違う業態の方で、コンピュータグラフィックを得意とする「ビジュアルアーティスト」です。  
木之内さんは、大学時代は絵画から技法を用いたコンセプチュアルアートを学んだとのことで、この辺りから本格的にコンピュータを用いた作品を数々作られていました。  
2005年には初の個展を開き、空間インスタレーションの草分け的存在です。

ご結婚されており、二児のお母さんも務めています。子育てをしながら、地道に制作活動を続けていたようで、2009年アジアデジタルアートアワード静止画部門「入選」、2015・2016年アジアデジタルアートアワード動画部門「入選」「2017年同部門大賞受賞いたしました。  
今日、商環境デザインにおいても、空間にデジタルアート取り入れた作品が増えてきております。  
木之内さんにも商環境の空間に新たな1ページを開いていただきたいと思います次第です。

関東月例会とくトーク委員長  
コーディネーター／福田裕治  
石橋美幸／下村牧子  
執筆／福田裕治



トークゲスト  
木之内憲子氏

**Profile**  
1976年 神奈川県出身  
2000年 東京芸術大学美術学部絵画科油画専攻卒業  
2002年 東京芸術大学大学院美術研究科版画第2研究室修了  
大学時代は絵画技法からコンセプチュアルアートの概念及び手法まで幅広く学ぶ。大学院修了時から本格的にコンピュータを用いた作品制作をはじめ2005年アートフロントギャラリーにて初個展。  
この時に製作した空間インスタレーションをきっかけに、空間デザインに踏み込んで作品作りをしたいと考えるようになる。  
近年はママ業と創作活動を両立させ、和紙や金属とデジタルを融合させた平面作品から動画制作まで幅広く手掛ける。  
-略歴-  
-主な受賞歴-  
2009年 アジアデジタルアートアワード静止画部門入賞  
2015、2016年 アジアデジタルアートアワード動画部門入賞  
2017年 アジアデジタルアートアワード動画部門大賞



hands2015



takadhome art work



蝶と手

会員の近況報告



「Does He Walk Alone?」



佐藤しげる (さとうしげる)  
DESIGN LABEL KNOT  
1969年生まれ、東京都出身。1990年東京デザイナーズ学院卒業。数社を経て1998年グローバルデザイン入社。本社企画部にて店舗の企画・デザイン・管理業務を担当。2004年フリーランス。2005年DESIGN UNIT KNOT設立、2006年DESIGN LABEL KNOT設立。パンタンデザイン研究所講師。

Door to Door で1時間と30分、これが私の通勤時間。  
基本的には家から出ないで引きこもり好きな自分ですが家に帰る途中にいろんな街に繰り出しやすいように取って西東京から東東京まで通っています。

バスや電車に乗るのがもともと好きなことでもあります。学生の頃に『文學ト云フ事』というフジテレビの深夜番組(井出薫さんや緒川たまきさんの予告編に魅せられてしまっていました)を見てから読書が一番長く続けている趣味となりその時間を作ることもこの少し長めの通勤時間にした理由の一つです。

純文学では梶井基次郎の「檸檬」の得体の知れない何かに引っかけ、谷崎潤一郎の「痴人の愛」のフェティシズム、安部公房の「箱男」の前衛的な官能小説に魅せられ、SFでは筒井康隆の「七瀬ふたたび」シリーズやフィリップ・K・ディックやアーサー・C・クラークをむさぼり読んでた若い頃でした。

近頃では原田マハさんの作品はどれも好きですね、さすが森ビルやニューヨーク近代美術館でも働いていたキュレーターである彼

女「楽園のカンパス」「サロメ」「暗幕のゲルニカ」は絵画ミステリーで 謎解きを楽しみながら絵画の鑑賞も知ることができるのが楽しいです。

「すべてがFになる」で有名な森博嗣さんの作品は「S&Mシリーズ」「Vシリーズ」「四季シリーズ」etc...

小説作品約100作品は定期的に読み返しをするくらいハマっており西之園明絵、犀川創平、真賀田四季、保呂草順平、瀬在丸紅子、サエバミチル、デボラetc...  
それぞれのキャラクターがいろいろな作品で出逢いすれ違い繰り返す200年以上の時を繋ぎ絡み合いこれからも続いて行く作品ですが執筆活動の縮小を宣言され残り少ない作品が待ち遠しい。

これからも電車やバスに乗り素敵な作品達を日々を楽しむ私です。

基本ネクラですがアウトドアな一面も見てもらいたいので不定期開催の「100人BBQ」の写真も見てください。



関東支部 冬のパーティー



JCD WINTER PARTY 2017

交流委員会 副委員長 雲野一鮮

2017年12月13日、クリスマスを目前に賑わう 渋谷公園通りでは「青の洞窟 SHIBUYA」が開催中で、青色LED一色で彩られていた。その通りの中央に位置する「パセラリゾートグランド渋谷B2F Zeal」で今年も「JCD Winter Party」を開催しました！  
沢山の素敵な皆さんと一緒に、渋谷のアツい夜を過ごす事ができて感謝です！JCDの冬の風物詩ともいえる恒例のバンド共演！昨年は4バンドぶっ通しだった為、歓談時間が足りないとの声もあり、今年は2バンドに絞る事に。

毎年参加頂いている賛助会員で構成する奥バンドと正会員で構成するJCDバンドが出演し、大いに盛り上がりました。特にJCDバンドは今回がラストギグになるのではという噂が密かにSNSで飛び交っていましたが、なんとMCでビートルズやローリングストーンズ、ボブ・ディランも演奏したNYのカーネギーホールに出演が決まったと発表しました！今後も引き続き、JCD Partyを盛り上げてくれる事でしょう！賛助メーカーによるブース出店も今年は受付の並びにゆったりとスペースを設け、賑わっていた様子でした。  
師走の寒い中、お越し頂いた129名の正会員と賛助会員、他団体、学生、その他オーディエンスの皆さん、そして奥バンドとJCDバンド、一緒に企画と運営を担当した交流委員会メンバー、事務局やスタッフの皆さん、ありがとうございました。感謝してます！外は寒いけど、会場は皆さんの熱気でHotな夜でした！次回のJCD Partyも皆さん楽しんで頂けるよう、トークショーの様々な切り口や時期などを検討中ですので、どうぞ宜しくお願い致します。  
センキュー、愛してます!!!

クモノデザイン株式会社 雲野一鮮(撮影も)  
協賛企業(敬称略)  
アイオーシー株式会社  
株式会社 LCI JAPAN  
株式会社サンズ





織田憲嗣氏のご自邸\*椅子とくらす織田ワールド

蔵田夢「チェアギャラリー」



カンディハウスのショールーム・IFDAのポスターを背景に



北海道とはアイヌ語で

「この地に生まれ、暮らすもの」の意。大雪連峰に抱かれ、石狩川と多くの支流が合流する、上川地方のほぼ中央に位置する「旭川」は、北海道第2の都市。人口34万人、交通・物流の拠点都市。

10月15日早朝8時、JCD関東支部 北海道研修一行9名は旭川空港に降り立つ。ジャンボタクシーで15分程の東神楽町・織田憲嗣邸を訪問。早朝にもかかわらず、ご夫妻に快く出迎えて頂きました。

織田氏は、椅子研究家で東海大学名誉教授。氏は約50年に亘り北欧をはじめ世界各国の椅子や家具、美しい日用品を収集。最初は自分の好みや、直感を信じて買い求めるコレクターであったが、収集を続けるうちに、自ら集めた家具を体系的に俯瞰する眼差しを求め、研究者となっていった。20世紀のすぐれたデザインの家具と日用品群。その種類は北欧を中心とした椅子や

テーブルから照明、食器やカトラリー、木のおもちゃまで多岐にわたる。高知県に生まれ大阪でイラストレーターとして活躍していた織田氏は、48歳の時旭川の家具生産者の方々とのご縁で、膨大な家具コレクションと共に旭川に拠点を移した。

織田邸は、東神楽町の自然豊かな5000坪の土地に、2002年に完成。プランは、デンマークの建築家、タッキーニ・モーテッセンの自邸を参考に、北海道の建築家の協力を得て設計。

「椅子と暮らすため」自ら、家具配置のプランを数多く描き、コレクションの中で、もっとも手元に置きたい家具を高密度に集積した「織田ワールド」をつくりあげた。氏のコレクションは、写真や図面、文献などの資料を含め、今では本国にも無いオリジナルやプロトタイプなどが、体系的に収集されており、学術的にも極めて貴重な資料である。その稀少性と研究実績が世界

的にも高く評価され、各国から展覧会などへの協力要請が相次いでいる。家具や調度品は、その意匠やデザインもさることながら、使い勝手でその真価がわかるもの。収集した織田氏自らが設えた生活空間「織田ワールド」へは、その生き方に感銘を受けた研究者たちが各国から引きも切らず訪れるそうだ。とはいえ個人の生活空間である。なかなか公開はしては頂けぬもの。それを訪れ、氏自身の丁寧な説明を得て直接体感できたこと、フィン・ユールやコア・クリントなどの名品を目の当たりにできたことは僥倖でありました。

■ ODA COLLECTION

椅子：約1350脚(内北欧4ヶ国のものが約800脚)名作椅子三面図：300枚、関連書籍：約30,000冊等々。「コレクターと呼ばれるのは好きではない」と話す織田氏。それは椅子を単なるモノ

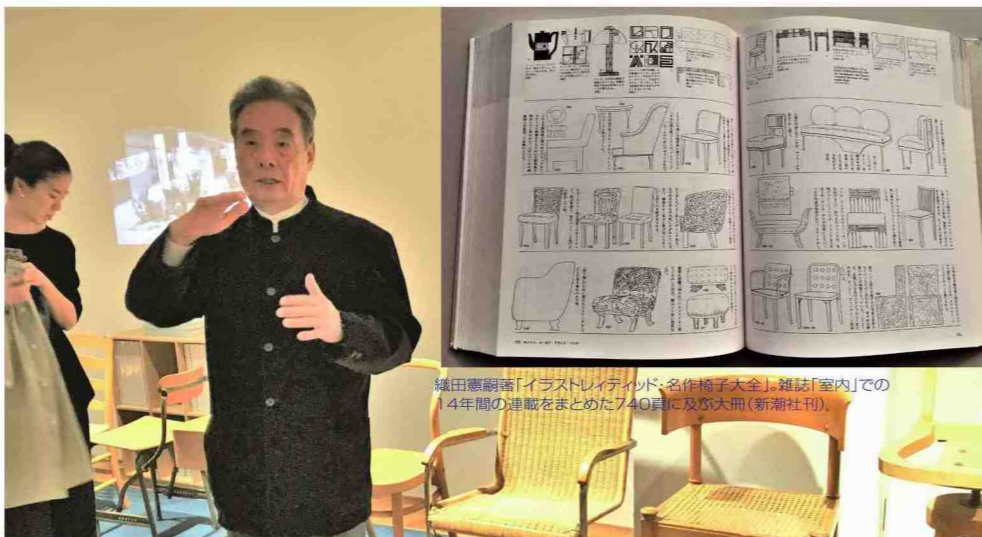
ノではなく、自らの人生のパートナー的な存在として慈しんでいるからに違いない。また、「世の中『断捨離』と喧しいが、それは低いレベルの身の回り整理法だと思いません…」と断じた一言も忘れることができません。コレクションの根底には、本来日本人が大切にしてきた価値観「手間をかけて丁寧に美しく暮らす」姿勢が深く横たわっているのであろう。大変貴重な2時間であった。さて、そのあとも、東川町文化交流センター(織田氏は東川町文化芸術コーディネーターをも勤めている)のギャラリーや、ユニークな作品を生み出している地元の家具工房などを案内して頂きました。大いに感謝・有難うございました。追、織田氏は現在、この東川町で、「デザインミュージアム」の創設構想に情熱を傾けていらっしゃるとのことでした。余談になりますが、東川町(人口 8000人)

では、10,000円を「ふるさと納税」とすると、町から6日間の宿泊券が贈られるとのこと。

さすがに木工産業の盛んな旭川エリア、第1日後半も、旭川デザインセンターや Conde houseのショールーム視察等など、家具すくめの楽しい一日となりました。さて、当地は大雪山系の伏流水と冷涼な気候を生かした酒造りも盛ん。「男山酒造り資料館」や「高砂明治酒造」の工場見学や試飲は逃すわけにはいきません。

■夜はクライム(蔵田夢)

道央旭川は、物資の一大集散地。日本海、太平洋、オホーツク海各沿岸を結ぶ鉄道の拠点。米や多くの商品や資材が、旭川を中心に行き交った。その旭川駅のすぐ近くに、開村からわずか10年余りの明治30年代に穀物倉庫として建てられたレンガ造りの倉庫群。明治の旭川商人たちの夢に彩られた沢山の物語がぎざまれている歴史

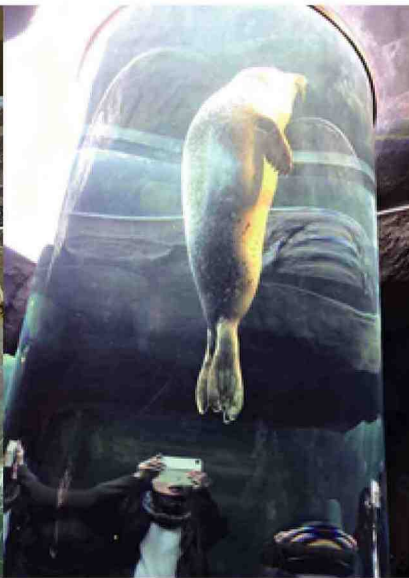


北青山の「Frits Hansen」でレクチャー中の織田憲嗣氏



蔵田夢・大雪ビルスナードで乾杯

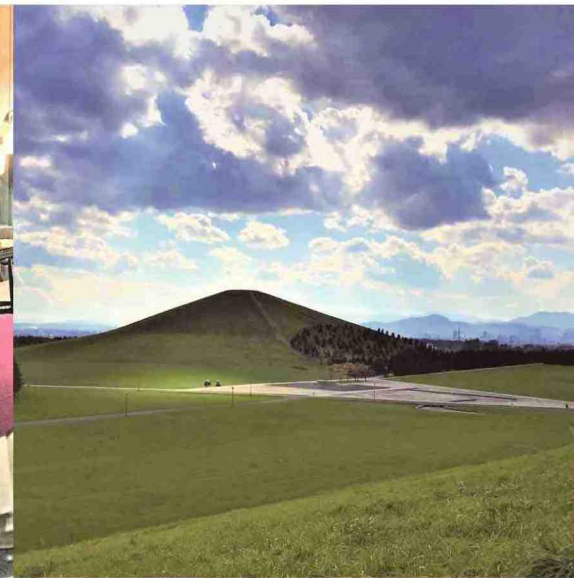
関東支部 北海道研修旅行



アザラシが人間観察に降りてくる。



北海道支部の皆さんとの懇親・交流会



モエレ沼公園

的建造物が、近年「蔵田夢」として甦った。2棟のギャラリー(このチェアーズギャラリーにも織田コレクションが常設展示されている)とライフスタイルショップや、大雪地ビール館などで構成されている。勿論、私たちJCD隊は、大雪地ビール館の「生ラムジンギスカン」と「大雪ピルスナー」で大いに盛り上がったことである。

■秋真ッ盛り 旭山動物園

旭山動物園は1968年、国内最北の動物園として開園、1983年の約60万人の入園者をピークに、1995年には26万人までに落ち込み、廃園の危機に直面した。経営がどん底の動物園が、多くの人を呼び寄せたいと考えたとき、動物園の役割の原点、娯楽・教育・研究・保全のうち、「娯楽」に焦点を絞った。「伝えるのは命」、動物の営みそれ自体が命への尊厳を感じる重要なことである。「行動展示」群を創意工夫・実践した。

集団行動の習性を活かした「ペンギンの散歩」「ホッキョクグマの水中飛込み」。そして動物たちの習性が一番わかるのが餌を食べるとき。飼育スタッフが餌を与えながら生き生きとした行動や習性について説明する、「アザラシのもぐもぐタイム」なかでも、好奇心旺盛なアザラシが人間を観察する円筒水槽展示の発想は秀逸だ。動物にとって自然で心地よい環境、観覧者にとって魅力的な展示から得る感動が、守るべき自然の大切さを意識させる。2010年の入園者は300万人を超え、同年、旭山動物園の行動展示は「KU/KAN賞」の栄誉に浴した。

■JR北海道 旭川新駅舎

旭川は函館本線の終点であり、石北本線・宗谷本線と富良野線の起点。道内の主要都市を結ぶターミナルだ。新駅舎は、2011年11月竣工。設計は東京大学名誉教授の内藤廣氏。

氏は、「海の博物館」など、ダイナミックな空間を創造する建築家。道産のタモ材をふんだんに使った大空間は見どころだ。駅周辺再開発事業と連携、JRのホテルやイオンモールと一体的な構成。東西の軸線は、買物公園から駅の中をも貫いて南側の忠別川まで突き抜けている。乗降客9千人ほどの駅舎としては、オーバースケールとの感を強くしたが、北海道新幹線の乗り入れを見越しての計画とのことだ。さて、2日間に亘って私たちを案内してくれたジャンボタクシーの若杉さんに言わせると「なーんも、来るわけがねえ」と一言で切り捨てたのだが、はたして…高速バスで旭川を後にして2時間余り、札幌へ。

■北海道支部の方々との交流・懇親会

当研修のもう一つの目的、北海道支部の皆さんとの懇親・交流会は20名が参加。すすきの開陽亭で、賑やかに、更には騒々

しく盛り上がったことである。「さすが北海道」と驚く海鮮料理が、「やっぱり北海道」とびっくりする料金で満喫、満腹。高橋支部長ありがとうございました。その上、この誕生日だった菅井さん(サカイリブ)は皆からの祝福を受け、瞳を潤ませておりました…。2次会は、長谷川理事長が経営するTHE NIKKA BARへ。自慢のモルトウイスキーとピアノの弾き語り、心安らくひと時でした。

第3日 札幌組と余市組とに分かれる。

■旧下ヨイチ運上家(きゅうしもしよいち うんじょうや/重要文化財)

松前藩の蝦夷地支配の遺構。江戸時代・松前藩は渡島半島の南端に位置し経済的基盤を農業に置くことが出来ない藩で、砂金や木材、ニシンや鮭、昆布、熊の毛皮など、蝦夷地の特産物の交易から得る運上金を主な収入源としていた。運上家は、和人

とアイヌとの交易拠点とした建物で蝦夷各地に60数ヶ所あった。運上家としては唯一再生された貴重な歴史的建造物。間口40メートル、奥行16メートルと内部の空間は広く、板の間から見上げた柱や梁は太い。欄間に設けられた巨大な神棚は、まるで小さな神社のようで、人々の厚い信仰心が窺える。奥の廊下の両側に配置された座敷は、支配人や松前藩士など、身分ごとに区切られており当時をしのばせる。

■ニッカウヰスキー余市蒸留所

ニッカウヰスキーの原点。1934年に創業者竹鶴正孝氏によって創立、仕込み水に適した清涼な雪解け水、ゆったりとした樽熟成に欠かせない湿潤で清涼な気候。余市の気候や風土はハイランド地方そのもの。「良いウイスキーはよい自然でしかない」という創業者の信念を原点に、緑化優良工場にふさわしい活動を進めて

きた結果といえる。登録有形文化財(建造物)に認定。ポットスチルで抽出されたウイスキーが樽に詰められ、熟成される「貯蔵庫」、「ウイスキー博物館」、「旧竹鶴邸」などを回遊。そして、またまた試飲。快晴に恵まれ広々とした所内をくつろいで探索、ニッカウヰスキーとの距離がぐっと縮まった次第である。

■札幌組はモエレ沼公園や「頭の大仏」視察・散策、こちらもゆったり。

10月17日20:00羽田着  
無事解散/やれやれ、お疲れさまでした。



旧下ヨイチ運上家



欄間に設けられた巨大な神棚は、まるで小さな神社のよう



Soda  
JCD 子どもたちと創るデザイン  
SEEDS OF DESIGN AWARD

## 「ワークショップ 石巻市立須江小学校」

Soda委員会 東北支部長 大塚真司

平成30年1月26日(金)宮城県の石巻市立須江小学校(児童252人)でワークショップを開催いたしました。4年生49名の純粋無垢でとても活発な子供たちが10班に分かれ、各班1~2名の講師が制作補助にあたりました。関東支部から4名、東北支部から5名の会員の参加があり、また賛助企業から10名の参加がありました。

開催前日、準備のために訪れた小学校でとても嬉しい出来事が2つありました。ひとつ目は、小学校を訪れた私たちに、2人のかわいらしい女の子が小走りで寄ってきて「こんにちはデザイナーの先生方ですか?明日のワークショップよろしくお願ひします」とキラキラと澄んだ目で元気ににこにこしながら挨拶してくれました。ふたつ目はどんなお店に

するかみんなて話し合い、テーマを決めてそれぞれの分担を決めて準備してきたのが想像できる、多数の粘土細工が廊下のテーブルにきれいに整理され陳列してありました。今回のワークショップに対する期待感と意気込みがとても伝わってきました。出前授業当日は、雪の残る寒い日でしたが、子供たちの熱気とスタッフたちのほど良い緊張感で寒さを感じることなく、授業を進める事ができました。東松島市桜華小学校から約一年後の開催なので、手順や全体の流れが読めて問題無くスムーズに執り行うことができました。東北支部としては年2回の目標を立てていましたが、やはり会員の誰かが学校と関わりを持っていて積極的にアプローチしないと、なかなか成立しない事が分かりました。須江小学校

では老朽化に依る校舎の改修工事が行われていたため、新藤委員長のレクチャーと最後の発表会は2階の音楽室で、制作は理科室と4年2組の教室と別れて行いました。賛助企業から提供されたサンプル類はそれぞれの教室前の廊下にテーブルを並べて陳列しました。

今回の児童のテーマは、高齢者や身体の不自由な方々に対する思いやりのある店づくりが多く、福祉に非常に興味のある事が分かりました。それぞれがサンプルを選ぶ目は爛々と輝き、ボードに貼っては悩み、みんなに相談しながら制作を進めていきました。私の担当した班は、男子生徒3名と講師2名で、他の班に比べると生徒に言われるがまま、ずっと制作の手伝いをしていました。時間は

あっという間に過ぎ、ぎりぎりでの完成でした。テーマは「バリアフリーコンビニ」。通路は広く、トイレは車椅子で入れるスペース、壁面はレースのカーテンを取付けてやわらかでやさしい雰囲気を出しています。コンビニの通常の商品はもちろん、無料の貸し出し用のステッキや車椅子も配置しており、男子3人で作ったとは思えない、ベージュとアイボリー色ベースの明るいお店に仕上がりました。他の班も、クオリティーが高く事前に用意された粘土の小物がとても精巧で作品を引き立てていました。作品発表はみんな自分の作品に自信を持って、お店の特徴や苦心した点を説明してくれました。他班が制作した作品に興味を持って覗きこんだり触れたり、本当に楽しそうでした。出前授業の活動を通して思う事は、

子供たちにデザインを教えているのではなく、子供たちの創造力、純粋さ及びひたむきな心から私たちが教わり、これからの仕事に対するエネルギーを頂いている様に思えるのです。何も無い空間に自分たちの思い描いたお店を作った子供たちの笑顔を、私たちプロの原点として受け止め、常に楽しく創造力豊かに仕事に取り組んでいきたいものです。

P.S  
宮城県の地方紙「河北新報」石巻版に「模型の店作って 古里の将来に夢」という記事の掲載がありました。





## 「あのころ...」

重鎮のデザイン回顧録～第十一回

## 「国際委員会に感謝」



朴 仁沢 (ぼくじんたく)  
1957年 東京生まれの韓国籍  
2017年 丹青社定年・再契約勤務中  
シニアデザインディレクター  
シニア商業施設士

### 旧本社と新本社

丹青社は本社を一昨年(2015年)9月に品川シーズンテラス19Fへ移転した。床面積1500坪の巨大なフロアにデザイン性の高い機能的なオフィスを構えて今年で3年目を迎えた。私が入社したのは1980年1月で丹青社が上野に新本社ビルを竣工して2年目を迎えた年だった。当時のオフィスと今日のオフィス環境ではまったく比較にならないが、それでも当時はガラスカーテンウォールとダークグレーの建築デザインはとてもカッコいいと思ったし、そこで働くことを誇らしく思った。しかし入社してすぐに配置されたのは本社ではなく新宿で、デパートのリモデルプロジェクトに投入され、現場近くのマンション事務所で昼夜の別なく現調、スミ出しと図面作業に追われた。3月末に無事オープンし初仕事を終え本社に戻った後、今度は広島県某駅前再開発の物件でCデザイン会社に支援のため出向を命じられた。C社のディレクターと現地へ赴き、駅前のプレハブ事務所を本拠地にして契約期限の年末まで過ごし、ようやく本社にもどれたのは'81年年明けだった。

### 専門店から大型店へ

所属は設計チームで百貨店のコーナー改装や婦人ファッション、カバン、生花、スポーツ用品、菓子などのチェーン店や、鉄道売店、空港売店、サウナなどの様々な専門店のデザインを4年ほど続けた。デザインを楽しくできるようになってきた1985年の夏に突然、大型店をやれと言われ移動した。多少不安はあったが大空間に興味もあり、入社5年の節目ということもあったと思う。移って見れば今までの専門店のデ

ザインとは勝手が違い、対象範囲も大きくプレッシャーも格段に大きかった。ちょうどその頃は首都圏駅ビル改装工事の動きが始まった頃で、松戸駅ビルでの一か月間の全面改装工事を成し遂げた丹青社は業界での先駆けとなり仕事がどんどんはいつてきていた。当然、新参者の私は新装・改装の別なく駅ビル、百貨店、GMSなどのプロジェクトに参加した。移籍後1年経たずして初めての大型施設担当となる亀戸の駅ビルを任せられ、プランニングからゾーニング、テナント配置、環境デザイン・設計監修までトータルに担当した。当時は完全なアナログ時代だったので、作図も面積計算も手作業で、ちょっとした修正でも膨大な作業を強いられた。(パソコンが普及した頃、若いデザイナーが簡単に修正作業をするのを見たときは殺意すら覚えた)

### 至高体験?

色々苦労をして開業日を迎えて、開店1時間以上前からたくさんのお客様が長蛇の列をつかってビルを囲む。にぎやかなオープニングイベントが期待感を高め、関係者のテーブルカットを合図に我先に店内へとなだれ込む。見違えた施設のしつらえに驚き喜んでる様子を見たとき、なんとも形容しがたい喜び、高揚感が胸にあふれてきた。(A・マズローの至高体験か?) この時の感情が以後、自分が大型商業施設設計にのめりこむ強いモチベーションになった。このプロジェクトを皮切りに駅ビル、SC、百貨店、GMSなどの新装、改装を東京、地方を問わず数多く手がけてきた。

### JCD入会と国際委員会・EGへ

私がJCDに入会したのは1995年5月、当時の上司だった鈴木進一朗さんの勧めで入会したのだが、当時は仕事で余裕もなく会合にもあまり参加できなかった。そんな私が積極的に参加するようになったのは2006年11月、当時国際委員長を務められていた岩佐さんからの委員会への参加要請だった。長い業界活動のなかで、思えばこれが私にとって「あのころ」と特にいえる運命的な出来事の始まりだった。国際委員会では委員会にふさわしい活動の推進ということで国際交流を深める。単なる海外視察ではなくデザイン団体との交流を図ること、JCD50周年記念イベントに向けた国際交流イベントを企画することを目的に飯島理事長、岩佐委員長はじめ国際委員会メンバーで楽しく精神的に活動した。韓国のガラス建材メーカーのJCD訪問をキッカゲに、1回目の海外視察をまずは隣国との交流重視という飯島理事長方針のもとに、ソウルツアー(2007.10)を企画しソウル市庁舎の特別見学、現地建築家によるセミナー、韓国デザイン関連団体との交流会などのプログラムを挙行政した。以降毎年活動をかさねるごとに、新しい団体との出会い交流も増えていき、次第に彼らの活動にもインボルブされ、韓国だけではなく中国へも交流の幅が広がっていった。オリンピック競技場で開催されたデザインイベントへの招待参加(2009、2010)、上海東華大学・上海韓国領事館でのSSDFデザインフォーラム(2010)参加など国際委員会の活動はさらに大きな流れになっていき、JCDの国際交流事業となるEGイーストギャザリングに発展していった。KOSID韓国室内建築家協会、H

KID香港インテリアデザイン協会とともに香港BODWイベント(2010.12)を始まりに、東京(2011.2)、ソウル(2011.10)をEGはめぐり、現在は武石国際委員長のもと台湾、シンガポールのインテリア団体を加え今日にいたっている。(残念ながらKOSIDIは2013年の会長交代により離脱)

### グローバルスタンダード

JCD国際委員会におけるこの一連の活動は、海外への自分のスタンスを大きく広げてくれた。時期を同じくして本業においても私はソウルで大きく貴重な経験を得た。ソウル某地区における13万5千坪の広大なエリアに街をつくる巨大再開発プロジェクトへの参画で、D・Libeskind、R・Piano、D・Perraultなど世界に名だたる19社のトップ設計事務所が参画した、まさに国際的なプロジェクトで、エリアごとに各社がデザインを受け持ち、それぞれがエキサイティングでユニークなコンセプトとアイデアを披露した。当社は全エリアの商業MD計画と35,000坪の地下商業モールを担当した。世界同時進行のデザイン作業となり、デベロッパーからの変更指示には地上部の建築設計者とのプラン修正や意見調整に、言語の問題やインターネット環境の遅れも加わり大変苦労した。さらに進め方から表現方法にいたるまでグローバルスタンダードと日本スタンダードの違いから、さまざまなプレッシャーにさらされながらもギャップを克服しチーム同力を合わせてコンセプトデザイン、スキマティックデザインをやりとげた。2011年9月、そうそうたるアーティストが一堂に介して行われた華やかなプレス発表会とキックオフミーティング、

2012年3月各社によるコンセプトデザイン中間プレゼンの緊張感に満ちた会場の雰囲気、2012年5月のエキサイティングなファイナルプレゼンテーションと終了後のパーティーは、打ち解けておたがいを称えあう楽しいひと時となったし、隣接する地下商業モールの設計会社であったBenoyやGenslerとの打ち上げ会など、通常ではありえない素晴らしい体験は私にとってかけがえのない宝になった。(残念ながらこのプロジェクトは現在中断している) その後も流れは止まらず、仁川でのSC(設計・監修2012.10開業)、龍山での外資系ホテル(基本計画・設計2017.11開業)などの仕事にもつながっていった。

### シンクロシティ

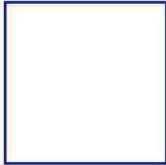
私は韓国籍だが生まれも育ちも日本で、長い業界人生の中で外国とのかかわりはほとんどなかった。しかしこの2006~2014年の8年間、つぎからつぎへとそれは起きた、それぞれに面識も関連もなかった人や団体、会社などとの多くの出会いや出来事は、JCD国際委員会への参加をきっかけにそれは発動したと思っっている。ユングの言う共時性か? できすぎた偶然の連鎖の中でふとわれに戻り不安になるたびに、ある一節を反芻する。

すべてを物事のなりゆきのままにまかせ、心を悠々と自由の境地に遊ばせて、やむにやまれぬ必然のままに身をゆだね、心の中におのずから中正の状態を養うがよい。しいて、よい結果を求めようとするな。ただ天命のままに従え (莊子、人間世篇)

第一回ソウルツアー  
韓国ディスプレイ協会との交流会



## JCD関東支部 新入会員



**飯沼 良介**  
KNOWLEDGE+  
東京都港区南青山2-11-13 南青山ビル4F  
TEL:090-2306-9445  
E-mail:info@knowledge-plus.jp URL:http://www.knowledge-plus.jp



**家所 亮二**  
株式会社家所亮二建築設計事務所代表取締役  
東京都中央区八丁堀4-11-2-101  
TEL:03-6228-3979 FAX:03-6228-3968 E-mail:iedakoro@riao.co.jp URL:http://riao.co.jp  
主な業績 1."ニクノトリコ"(焼肉店、港区六本木、設計監理、2016) 2."EOoffice"(オフィス、都内某所、設計監理、2016)  
3."MOMENT KANDA WEST"(バー、千代田区内神田、設計監理、2014) 4."MOMENT KANDA WEST"(バー、千代田区鍛冶町、設計監理、2014) 5."NJNG house"(住宅、都内某所、設計監理、2017) **資格・他**:一級建築士



**大嶽 直記**  
Design Studio GAKU  
東京都千代田区麹町4-8-1 クリスタルシティ西館 THE MOCK-UP 204  
TEL:03-4405-5195 E-mail:info@designstudio-gaku.com URL:https://www.designstudio-gaku.com/



**澤山 乃莉子**  
一般社団法人英国インテリアデザインビジネス協会  
東京都港区元赤坂1-1-8 赤坂コミュニティビル9F  
TEL:03-6804-6501 FAX:03-6804-5815 E-mail:noriko@nsda-uk.com URL:http://www.babid.org/  
http://www.nsda-uk.com/



**清 和美**  
株式会社バルプランニング 代表取締役  
大阪府大阪市中央区南船場1-16-23-903号  
TEL:06-6267-1717 FAX:06-6267-1718 E-mail:val@val-planning.com URL:http://www.val-planning.com



**常賀 茂樹**  
株式会社竹中工務店  
東京都江東区新砂1-1-1  
TEL:080-1151-4348 FAX:03-6660-6029 E-mail:tsunega.shigeki@takenaga.co.jp  
URL:http://www.takenaga.co.jp

## JCD関東支部 新入賛助会員



**SSLIGHT JAPAN株式会社**  
担当 金 敬敷  
東京都豊島区池袋2-11-2  
アルコイルス3F  
TEL:03-6912-5374  
FAX:03-6912-5376



**匠大塚株式会社**  
担当 坂井 考一  
東京都中央区日本橋2-7-1  
東京日本橋タワー25F  
TEL:03-6262-5570  
FAX:03-6262-5145

2018年2月28日現在

### JCDとは

JCDはデザイナーの団体です。インテリアデザイナー、建築家、空間演出デザイナー、照明デザイナー、グラフィックデザイナーなどによって構成されています。アトリエ事務所であったり、組織設計事務所であったり、ゼネコンの社員であったり、所属も様々です。こうした多岐にわたる個人が国内外のデザイナーと交流し、デザインの視野を広げる場としてJCDは機能しています。デザインに対する新しい知識を得たい。時代を先導するデザインシーンに触れたい。自分の成果を問い、発表したい。高い評価を得たい。社会に貢献したい。JCDは、そんなキャリアデザインを応援します。

発行:一般社団法人 日本商環境デザイン協会関東支部  
〒141-0022 東京都品川区東五反田5-25-19  
東京デザインセンター5F  
TEL 03-6277-4813 FAX 03-6277-4814  
URL www.jcd-kanto.com/

**MEGA.Group**

店舗・商業施設用家具のエキスパート  
**BELL FURNITURE**  
株式会社 **ベル・ファニチャー**

【本社ショールーム】  
〒232-0014 神奈川県横浜市南区吉野町4-17-3  
TEL:045-252-1411

【渋谷ショールーム(予約制)】  
〒150-0043 東京都渋谷区道玄坂1-12-1  
渋谷マークシティウエスト14階  
株式会社オフィス空間内 TEL:03-5457-1333(担当:神崎)

内装石張り工事の常識を打ち破る、極薄天然石とFRPの複合石パネル。

**UTパネル**  
Ultra Thin Panel

2mm~5mm厚にスライスした天然石材  
FRP(ガラス繊維補強エポキシ樹脂) 厚さ3.5mm

- 極薄・超軽量/2~5mm厚の天然石とFRP基盤を張り合わせた超軽量複合パネル。厚さも最薄3.5mm。軽いため運搬費の軽減にもつながります。
- 美しい仕上がり/原材料は、大理石や御影石などの天然石。見ても触れても無垢材と変わらない美しい表情を実現。
- 要望に応じた加工/工事内容に応じ、最大700mm角までのパネル化が可能。さらに、色彩や紋様のつながり加工など、細かなオーダーにも柔軟に対応。
- すぐれた経済性/特にリフォームの場合、既存の壁・床の仕上材を取り除くことなく、上から張れるので施工期間を短縮でき、トータル工事コストも軽減。

トイレ改修工事 UTパネル施工 石種:ベニレーキエトロ

施工前状況 施工後状況

石のソリューションカンパニー

**ソリュート株式会社**  
〒101-0031 東京都千代田区東神田2-7-1 (區部ミヤギビル6F)  
TEL:03-5809-2815 FAX:03-5809-2816  
http://www.esg-japan.com

商環境空間  
に賑わいの演出

FLAGPOLE & others

株式会社 **サンポール**

東京 〒105-0004 東京都港区新橋2-2-9  
TEL 03-3591-8501 FAX 03-3591-8561  
HOME PAGE <http://www.sunpole.co.jp>  
E-MAIL [hansoku@sunpole.co.jp](mailto:hansoku@sunpole.co.jp)  
お問い合わせは営業企画部販売促進課へ

特別な時間を、特別な空間から

デザイン・ラグジュアリータイルのブランド「TERRA」が、タイルの概念を覆します。

**TERRA**

www.riviera.jp/terra

リビエラ株式会社  
〒160-0023 東京都新宿区西新宿5-3-2  
イマズ西新宿ビル1F  
TEL:03-6276-3450  
FAX:03-6276-1121  
e-mail:info@riviera.jp

**PREGANO**  
UNION HOTEL ROOM HARDWARE COLLECTION

ホスピタリティは細部にこそ息づく。

もてなしの空間に思いを集めた至高のプロダクトシリーズ“PREGANO(プレガノ)”。

世界に名だたるハイブランドとも共鳴しながら、もてなしの価値をさらに高める。

発行:一般社団法人 日本商環境デザイン協会関東支部  
〒141-0022 東京都品川区東五反田5-25-19  
東京デザインセンター5F  
TEL 03-6277-4813 FAX 03-6277-4814  
URL www.jcd-kanto.com/

建築文化を創造する  
株式会社 **ユニオン**  
www.artunion.co.jp

本社・大阪支店 〒550-0015 大阪市西区南堀江2-13-22 tel 06-6532-3731  
東京支店 〒135-0021 東京都江東区白河2-9-5 tel 03-3630-2811  
名古屋営業所 〒454-0805 名古屋市中川区舟戸町3-20 tel 052-363-5221

JCD PRODUCT OF THE YEAR 2017

**SAKAI Rib**

リブ材なら株式会社 **サカイ S**

(ご注文・お見積りは本社へ)  
本社 〒0120-077810 F:0120-96-9433 〒811-0203 福岡県福岡市東区塩浜1-27-24  
(担当不在の場合が有ります急事前にご予約下さい)  
東京ショールーム TEL:03-6300-4341 〒151-0066 東京都渋谷区初台1-29-13BELAIR Kato101

厚さ2mmの特殊左官  
「エコリバイバル工法」

下地を選ばず、厚さ2mm以内で表現する左官工法

**Plan Do Group**

株式会社 **プラン・ドゥ・モトハシ**  
177-0042  
東京都練馬区下石神井3-9-10-1-101  
03-5923-6505 / F 03-3904-1920  
info@plando-group.co.jp  
担当 藤原 巧



## 各支部イベント

各支部のイベント情報です。お近くにおいでの際は是非お立寄りください。詳細は各支部にお問い合わせください。

<b>本部事業</b> ●5月25日(金) 平成30年度総会@カナダ大使館	<b>北海道支部</b> ●現在検討中	<b>東北支部</b> ●現在検討中	<b>関東支部</b> ●6月初旬とくトーク@日時場所未定 ●6月～7月 賛助委員会主催BBQ大会@日時場所未定 ●7月 交流委員会主催 夏のパーティー@日時場所未定 ●8月24日 賛助委員会主催 熱海花火大会	<b>中部支部</b> ●現在検討中
<b>関西支部</b> ●現在検討中	<b>中国支部</b> ●年度前半は会議、運営の準備期間のためイベントはございません	<b>四国支部</b> ●4月21、22日 第3回SHIKOKUデザインフュージョン文化会館にて開催(JCD,SDA,JIA,KDA)合同 ●6月 JCD四国支部OB会 ●7月 瀬戸内カタマランヨットクルージング	<b>九州支部</b> ●現在検討中	<b>沖縄支部</b> ●現在検討中

## 関東支部29年度組織図

各々の委員会は委員を募っています。

<b>支部長 副支部長</b> 小田秀樹 品川正之・新藤 力		
<b>正副委員長会</b>		
<b>研究セミナー 委員会</b> 委員長 福田裕治 副委員長 石橋美幸 下村牧子 ●月例会の運営 ●勉強会・研究会の運営・開催	<b>広報委員会</b> 委員長 古川紳太 副委員長 大滝道晴 ●ネットワーク紙の発行 ●取材・広報活動	<b>交流委員会</b> 委員長 折原美紀 副委員長 窪田 茂 雲野一鮮 ●会員交流会運営 ●他団体・地区関係との交流
<b>支部賛助委員会</b> 委員長 品川正之 副委員長 奥 弘史・原 康喜 藤原 巧・本間克典 ●支部賛助会員情報の発信 ●支部賛助会員の新規開拓 ●他委員会との連携強化	<b>メディア委員会</b> 委員長 水谷晶人 副委員長 中村茂雄 ●メールマガジンの発行 ●広報活動	<b>特別委員会</b> 委員長 星 明臣 ●総会など特別なイベントを扱う ●研修旅行の運営・開催

## 賀詞交歓会 2018



去る、1月17日(水)JCD事務局が東京デザインセンター(五反田)に移転して、初めての賀詞交歓会は例年の神田明神から、同センターのB2Fガレリアホールにて行われました。JCD理事長の長谷川 演氏の挨拶に続き、ご



来賓のDSA会長の鈴木恵千代氏のご挨拶並びに同センターの代表取締役の船曳 鴻紅氏紅氏の乾杯のご発声で開催され、正会員、賛助会員の大勢の方々が顔を合わせ、新年のスタートにふさわしい会となりました。



## 関東支部・本部動静(予定)

### 賛助委員会主催イベント

賛助委員会主催BBQ大会@日時場所未定ですが...



8月24日(金) 賛助委員会主催 熱海船上花火大会  
今年も船3隻予定しています!



Government of Canada / Gouvernement du Canada

Canada

## 平成30年度『総会』



<B1F オスカーピーターソンシアター & 横ホワイエ>



<4F エグゼクティブルーム>



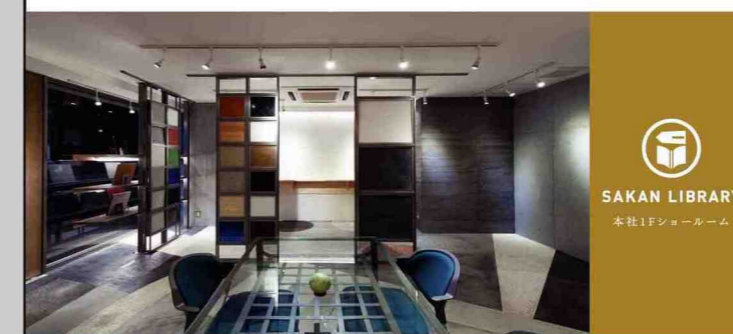
<二次会『Stella』Bar ユニマットイベントハウス>

日時:平成30年5月25日(金)  
PM11:00~20:00  
場所:カナダ大使館  
最寄駅:東京港区青山(東京メトロ銀座線・半蔵門線「青山一丁目」徒歩5~6分)

- 第1回 定例理事会&セミナー  
<4Fエグゼクティブルーム>  
理事及び監事はAM11:00着席/理事会開始12:15~14:15まで  
「Lunch&Learn」のセミナー開始(BCウツト)11:15~12:15
- 第1回 定時総会&セミナー  
<B1Fオスカーピーターソンシアター>  
大使館挨拶・セミナー開始(BCウツト)14:20~14:50  
総会開始  
PM15:15~PM16:40(休憩:16:40~17:15)
- 第1回 臨時理事会召集  
<4Fエグゼクティブルーム>  
16:45~17:10
- 第1回 臨時総会  
<B1Fオスカーピーターソンシアター>  
17:15~17:55
- 懇親会  
<B1Fオスカーピーターソンシアター横ホワイエ>  
18:00~19:50
- 二次会 予定  
<青山外苑前『Stella』Barユニマットイベントハウス>  
20:10~22:10

# 左官

特殊左官工事  
HARADA SAKAN



有限会社 原田左官工業所 | TEL: 03-3821-4946  
FAX: 03-3824-3533

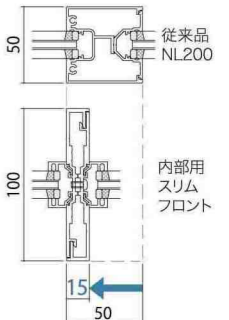
〒113-0022 東京都文京区千駄木4-21-1  
E-mail: sakan@haradasakan.co.jp  
homepage: http://www.haradasakan.co.jp

当社従来品の見付50mmから大幅なスリム化!!  
方立・無目見付 15mm

## 内部用 スリムフロント

### 【製品特長】

- 複合商業施設や駅ナカ施設内の店舗やエントランス、オフィスなどのスクリーンや間仕切りに最適な内部専用フロント
- 方立・無目の見付を15mmにしたシンプルで意匠性の高いデザイン
- 従来製品(NL200,NL300,NL400)と互換性を持たせることで様々なバリエーションを実現



▲従来品(NL200)との方立見付比較

昭和フロント株式会社  
〒101-0047 東京都千代田区内神田1-13-7  
tel.(03)3293-6735 http://www.sfn.co.jp

**不燃装飾造形 製作施工**  
株式会社 **GR事業部**  
mihasi gr 検索

「イメージを形に」  
特殊形状でお悩みの際は是非ご相談下さい。  
Glass Fiber Reinforced (ガラス繊維強化製品) を主軸に  
お客様のイメージを形にしていきます。

お問い合わせ・ご用命は  
TEL 048-464-3112  
FAX 048-466-1034  
E-mail info-gr@mihasi-gr.com

GR事業部  
www.mihasi-gr.com

〒351-0101 埼玉県和光市白子 3-26-43

WEBサイトはこちら

12th ANNUAL  
**JCD**  
PRODUCT OF THE YEAR 2018

**第12回  
プロダクトオブザイヤー  
2018**

**投票受付中!**  
締め切り日 2018年4月6日(金)

2018年春  
椿サロン 銀座店  
3/19 OPEN!!

**椿**

**tsubaki salon**

tsubakisalon.jp

椿サロン 札幌本店  
椿サロン / THE NIKKA BAR (赤れんがテラス店)  
北海道 all dining 椿サロン (トマム店)  
椿サロン 夕焼け店 (日高)  
椿サロン 銀座店 (東京) 2018年3月19日 OPEN

Cocktail ¥1200~

ROMEO Y JULIETA  
MONTECRISTO  
HOYO DE MONTERREY

東京都渋谷区猿樂町9-3-B1F  
TEL: 03-6455-1865  
OPEN: 19:00~  
B1F: 9-3, Sarugaku-cho, Shibuya-ku, Tokyo.  
URL: http://liquorandcigarettesm.com/ LIQUOR and CIGARETTES

**M**

代官山に小さな Bar を開業しました。  
ケニアで撮影したチーター達が待っています。

株式会社西藤一郎デザイン事務所 / 株式会社エヌ・プランニング

**JCD関東支部賛助会員**

みはし株式会社	青木 勇弥	埼玉県和光市白子3-26-43 tel:048-464-3112 fax:048-466-1034 http://www.mihasi.co.jp
西澤工業株式会社	西澤 康明	群馬県高崎市上並榎町445 tel:027-362-6234 fax:027-362-6462 http://www.nishizawakk.co.jp
株式会社ブランドゥ・モトハシ	藤原 巧	東京都練馬区下石神井3-9-10 ガーデンハウスベル石神井1-101 tel:03-5923-6505 fax:03-3904-1920 http://www.plando-group.co.jp
株式会社本間工芸	本間 克典	神奈川県相模原市緑区長竹887-3 tel:042-780-0160 fax:042-780-0173 http://www.honmakougei.sakura.ne.jp/
株式会社大川工務店	大原 史弘	東京都目黒区緑ヶ丘2-15-13 国領ビル206 tel:03-3705-5605 fax:03-5701-0383 http://www.ohkawakoumuten.jp
桐野建設株式会社	桐野 温	埼玉県三郷市栄4-258-1 tel:048-954-6606 fax:048-954-6628 http://www.kirino-kensetsu.com
アルプス株式会社	原 康喜	東京都新宿区早稲田南町33 tel:03-3207-0006 fax:03-5272-0051 http://www.alps-co.com
ソリュート株式会社	奥 弘史	東京都千代田区東神田2-7-1 広部ミヤケビル6F tel:03-5809-2815 fax:03-5809-2816 http://www.esg-japan.com
YKK AP株式会社	大竹 寿	東京都墨田区亀沢3-22-1 YKK 60ビル tel:03-5610-8435 fax:03-5610-8436 http://www.ykcap.co.jp
株式会社日吉屋	平山 大輔	京都府京都市上京区百々町546 tel:075-441-6644 fax:075-441-6645 http://www.wagasa.com/
株式会社ユニオン	沼田 健一	東京都江東区白河2-9-5 tel:03-3630-2811 fax:03-3630-2816 http://www.artunion.co.jp
株式会社ドラフト	長塚 真唯	東京都渋谷区神宮前1-13-9 アルテカプラザ原宿2F/3F tel:03-5412-1001 fax:03-5412-1011 http://www.draft.co.jp/
株式会社和興	貴田 健大	東京都港区東新橋1-1-21 今朝ビル8F tel:03-6274-6222 fax:03-6274-6223 http://www.k-wakoh.co.jp/
有限会社原田左官工業所	原田 宗亮	東京都文京区千駄木4-21-1 tel:03-3821-4969 fax:03-3824-3533 http://www.haradasakan.co.jp/
Soranna Avenue株式会社	ソランナ マルコ	東京都大田区仲池上2-18-14 グランイーグルII-601 tel:090-8304-1458 http://www.sorannaavenue.co.jp
株式会社博報堂	細野 百子	東京都港区赤坂5-3-1 赤坂Bizタワー tel:03-6441-8221 http://www.hakuhodo.co.jp
株式会社オーツー QUON TOKYO	西盛 正知	東京都港区港南3-4-27 WAREHOUSE2F tel:03-6433-1075 fax:03-6433-1076 http://www.otu.co.jp
株式会社SIXINCH. ジャパン	乾 敦雄	東京都文京区本郷2-35-10-1F tel:03-6801-6670 fax:03-6801-6674 http://www.sixinch.jp/
株式会社GLORY	申東 照	東京都北区浮間4-23-25 tel:03-3969-2591 fax:03-3969-2592 http://www.gloryad.jp
ウッド建材株式会社	志村 孝広	埼玉県入間郡三芳町上富890-1 tel:049-258-7679 fax:049-257-0756 http://www.woodken.co.jp
株式会社ミネルバ	根井 淳	神奈川県横浜市神奈川区青木町5-25-902 tel:090-9822-7662 fax:045-441-8158 http://minerva-jpn.co.jp
有限会社Tommy's Works	田澤 淳一	東京都練馬区練馬4-15-23 パークサイドハイツ205 tel:03-6764-1000 fax:03-6767-6434 http://tommys-works.jp
株式会社NENGO	藤松 豊	神奈川県川崎市高津区下作延7-1-3 tel:044-829-3383 fax:044-829-3329 http://www.nengo.jp
株式会社CROWN	所 奈津子	東京都港区北青山2-10-28 1F tel:03-3479-5553 fax:03-3479-5554 http://www.area-japan.co.jp
中愛株式会社	松浦 祐士	東京都大田区多摩川1-31-12 tel:03-5732-0661 fax:03-5732-0660 http://www.chuai.co.jp
株式会社クラマスTK, B	小渡 庄右門	東京都板橋区蓮根3-27-17 石井ビル3F tel:03-5948-7248 fax:03-5948-7249 http://www.kuramasu.co.jp
アルティ株式会社	北村 健志	東京都港区南麻布4-11-30 南麻布ビル1F tel:03-5449-2500 fax:03-5449-2920 http://www.arti-tokyo.com
株式会社オフィス空間	渡邊 浩志	東京都渋谷区道玄坂1-12-1 渋谷マークシティウエスト14F tel:03-5457-1333 fax:03-5457-1555 http://www.officekukan.jp
株式会社シンクロ・フード	石井 昌彦	東京都港区恵比寿南1-7-8 恵比寿サウスワン7F tel:03-5768-9522 fax:03-5768-9532 http://www.synchro-food.co.jp/
株式会社サンズ	天本 健太郎	東京都港区浜松町1-20-8 山市ビル4F tel:03-6809-2725 fax:03-5733-5939 http://www.sanzu.co.jp
有限会社早瀬塗装工業	早瀬 竜也	茨城県常総市豊岡町丙3836-1 tel:0297-27-6677 fax:0297-27-6678 http://www.hayasotosou.com
デュラビット・ジャパン株式会社	川原 永嗣	東京都渋谷区恵比寿西2-8-4 平陽ビル6階 tel:03-5428-4605 fax:03-5428-4607 http://www.duravit.co.jp
ルイスポールセンジャパン株式会社	後藤 謙太	東京都港区六本木5-17-1 アクシスビル4F tel:03-3586-5341 fax:03-3586-0478 http://www.louispoulsen.com
株式会社花とみどり社	岩崎 弥生	東京都墨田区業平1-9-1 tel:03-3622-0878 fax:03-3622-1787 http://www.midorisha.com
有限会社桐山製作所	桐山 時男	東京都荒川区東日暮里2-31-11 tel:03-3802-0005 fax:03-3801-1170 http://www.kiriyama.co.jp
株式会社PEC	宋 美善	東京都新宿区早稲田鶴巻町556 ラフィネ早稲田301 tel:03-6205-5646 fax:03-6205-5645 http://www.pec.co.jp
株式会社オオカワ	三浦 雄彦	埼玉県三郷市戸ヶ崎2-711-1 tel:048-948-3300 fax:048-948-3320 http://www.ohkawaworks.com
クリヤマ株式会社 東京支社	神田 隆史	東京都千代田区神田駿河台3-4-3 龍名館本店ビル8,9F tel:03-3298-7883 fax:03-5298-7888 http://www.kuriyama.co.jp
新興プラスチック株式会社	松田 好且	東京都江東区南砂1-5-24 tel:03-6263-0533 fax:03-6263-0534 https://trans-parency.jp

**JCD関東支部・JCD本部事務局  
引越し。しました!!**

**旧住所**  
〒101-0021 東京都千代田区外神田2-1-6  
外神田会館101  
tel 03-5207-6707 fax 03-5207-6708  
http://www.jcd.or.jp/ e-mail:info@jcd.or.jp

**新住所**  
〒141-0022 東京都品川区東五反田5-25-19  
東京デザインセンター5F  
TEL 03-6277-4813 FAX 03-6277-4814  
URL www.jcd-kanto.com/ e-mail:info@jcd.or.jp